ES参考 – 团队协作类

私の長所は協調性が高いことある。大学の課題解決型実習プログラムに参加し、企業向けの最終報告会でプレゼンテーションを行う機会があった。しかし、文化背景の異なった5人のメンバーとの議論の中で、意見が衝突することが多く、チームメンバーがやる気をなくしたことがあった。そこで、現状を変えるために、まず意見が衝突する原因がどこにあるかを考えた結果、コミュニケーションの不足と役割分担の不明確であることが特定された。そこで、私は以下の施策を考えた。1つ目は、最終発表に向けて、毎週授業が終わった後にチームメンバーを集め、定期的に話し合う時間を作ることである。さらに、議題を事前に決め、その場で共有することで効率よく進める工夫をする。2つ目は、発表においてのメンバーの役割分担を行なった上、お互いの役割を各自理解するよう確保することである。これらの施策によって、チーム内はメンバーたちが同じ目標に向かって努力する雰囲気へと変化し、最終報告会で全員が合意した内容のプレゼンテーションができた。そして、企業と指導教員から高評価を得られた。こうした経験を通じて、私は多様な価値観を理解した上で相手の意見を聞き入れることがチームワークにおいて重要であると学んだ。

大学院の課題解決型実習に参加した際に、5人チームで企業のイノベーション人材不足の課題と発表に取り組み、優秀賞を取った経験がある。チームワークを進める中で、もう1名の留学生のメンバーのモチベーションが低く、ディスカッションに参加してくれない課題があった。それに対して、チームリーダーを担当した私は、まず彼女と1対1の面談を行い、原因は日本語の使用に不安を感じていることにあると究明した。そこで、彼女の日本語に対する不安を解消し、自信を持ってディスカッションに参加できるように、2つの解決策を考え、実施した。1つ目は、前をもってディスカッションの内容を彼女とすり合わせをし、日本語での専門用語の言い方を予習したことだ。2つ目は、チームでの食事会を企画し、実習以外にも繋がりを深められる場を作ったことだ。その結果、彼女が日本語に自信が持てるようになり、意見交換しやすい雰囲気を醸成ことができた。最終的には、意見がまとまった発表ができ、優秀賞を獲得できた。今後の仕事の中でも、メンバーを巻き込み、困難な課題に向けてチームで挑戦していきたい。